

陸前高田発

チャオチャオ道中踊り復活



陸前高田市の夏の一大イベント「チャオチャオ陸前高田道中踊り」が7年ぶりに復活しました。

4月にかさ上げ地に商業施設「アバッセたかた」が開業したことを受けて企画されたものです。かさ上げされた商業地の一角で行われた踊りには、災害公営住宅の住民や市の職員など250人余りが参加し復活を喜びました。(7/29 ニュース)

大槌発

仮設商店街で最後の夏祭り

震災の年の12月にオープンした大槌町の仮設商店街「福幸きりり商店街」は、仮設店舗の使用期限を迎えることから来年撤去される予定です。これを前に最後の夏祭りが行われ大勢の人でにぎわいました。商店街の駐車場には特設ステージが設けられ、地元の子どもたちや郷土芸能団体が歌や踊りを披露し盛り上げました。(7/30 ニュース)



釜石発

東部地区の復興に遅れ

釜石市は津波で被災した中心市街地や魚市場近くの海岸部など東部地区で進められている宅地造成や復興公営住宅の整備について、去年7月に発表した計画に比べて2ヵ月から10ヵ月遅れると発表しました。既存の道路や電気などのインフラと住民の生活を維持しながら工事を進める必要があるため、東部地区の宅地造成は再来年3月の完了予定となりました。(7/31 ニュースエコー)



盛岡・大船渡発

水門自動閉鎖の運用開始

震災では多くの消防団員が水門の閉鎖中に津波にのまれて亡くなりましたが、こうしたことを防ごうと津波警報などが発表された際に、水門などを自動で閉鎖するシステムの運用が開始されました。これは専用の衛星回線を使いJアラートから津波警報などを受信すると県庁からの遠隔操作で自動的に水門や防潮堤の間にある陸閘を閉鎖することができるものです。大船渡市の合足農地海岸ではJアラートの模擬信号が衛星回線を通じて届くとサイレン音と避難を促す放送が流れ、水門と陸閘が3分ほどかけて閉鎖されました。沿岸では8基が稼働し始めました。(7/31 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、8月7日に開催される陸前高田市伝統の祭り、高田町の「うごく七夕」と気仙町の「ケンカ七夕」について伝えてくれました。共に約900年の歴史を持ち、お盆に帰ってくるご先祖様の道標のための祭りという事です。「動く七夕」まつりは、色鮮やかに装飾された山車をロープで引っ張りながら町内をねり歩きます。一方「ケンカ七夕」は、太鼓の乱れ打ちとともに山車と山車がぶつかり合うものです。菅野さんは「山車の豪華さや勇壮なところを見てもらいたい」と話していました。(8/2)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122